主日礼拝

2023年08月06日午前10時30分

前奏 「みんなの手のひらに」 (H.ウィラン)

「平和の鐘」の点鐘

1945 年 8 月 6 日、爆心地からわずか 800 メートルの場所にあった広島流川教会の旧会堂は、被爆しました。被爆直後、被爆し燃え残った木材で「被爆十字架」を作成しました。1995 年、被爆 50年の年から私たちは、礼拝堂前に「被爆十字架」をかかげ、被爆した鐘を礼拝堂横に設置し、平和への祈りを重ねています。

ヒロシマ、ナガサキ、そして全世界の被爆者が 負わされた重荷を、主が共に担ってくださり、 世界で被爆者が二度と生み出されないようにと 祈りつつ鐘をつきます。

点鐘者:被爆者代表

原子爆弾により、そして戦争によって多くの 人々の命が奪われました。その人々につながる 家族、親族など愛する者を失った遺族のうえに 主の慰めと平安があるように祈りつつ鐘をつき ます。

点鐘者:被爆死没者•戦没者遺族代表

私たちが二度と原子爆弾の使用を許さず、平和を 創造し続けるために、ヒロシマ、そして広島流川教 会の経験を次の世代に伝えることができる時、主 が平和な未来を子どもたちに備えてくださるこ とを信じて、子どもがつく鐘を聞きます。

点鐘者:平和の子どもたち代表

私たちは、平和の主を信じる群れとして、誠実に 歴史と向き合い、平和を実現するために世界の 教会と祈りを合わせ、世界の子どもたちとあなた を信じて歩む決意のしるしとして、被爆を今へと 伝えるこの鐘をつきます。

点鐘者:向井 希夫 牧師(広島流川教会)

参集 (報告・紹介・予定)

リタニー 「78年目のヒロシマ」

司式者: 神さま、78年目の8月6日をむかえる ヒロシマの祈りをお聞きください。

みんな:主よ、平和をください。

司式者:あの日、一発の原子爆弾により多くの人の 命が奪われ、多くの人が傷つきました。 今も苦しんでいる人が多くいます。

みんな:主よ、憐れみ、なぐさめてください。

司式者: わたしたちは、ヒロシマ、ナガサキのことを 決して忘れません。

みんな:主よ、わたしたちの心を強めてください。 司式者:この世界から核をなくすためにわたしたちに

できることを教えてください。

みんな:主よ、教えてください。

司式者:世界の人々が理解し合えるように導いて ください。

みんな:あなたの愛をしめし、知恵と勇気をください。

司式者:くじけないで、あなたを信じ、世界のこども たちといっしょに祈り、求めます。

みんな:主よ、平和をください。 アーメン

替美 これさん) 0821

それが平和を作る最初の一歩 **0821** ^{調/曲: 子どもの友セミナー2007}
「歌」ワークショップ

| Table | Ta



- 1. 考え方の違う人に 「きみが好きだ」って言えること それが平和をつくる 最初の一歩
- わたしがわたしであるように あなたがあなたであるように それが平和をつくる 最初の一歩
- 3. はじめて出会った人にでも 「こんにちは」って言えること それが平和をつくる 最初の一歩
- 並いてる人と泣けること 喜ぶ人と喜ぶこと それが平和をつくる 最初の一歩

5. 子どもは大人のパートナー 大人は子どものパートナー それが平和をつくる 最初の一歩

祈祷

新金

主の祈り・讃美歌 62 こ19

先 唱:ピアース麻里、こどもたち



聖書 マタイによる福音書 5:9

新約(新共同訳)p6

9 平和を実現する人々は、幸いである、 その人たちは神の子と呼ばれる。

聖歌隊 「みんなのてのひらに(ツマミナ世界のさんび2)」 指揮: 玉理照子

説教 「みんなで造り出そう平和」

奉献演奏 栗田智子

「J.S. Bach Partita no.3から"Gavotte en Rondeau"」

賛美 こ)34(1)「キリストのへいわ」

(子どもたち手話)



派遣

司式者 主は言われます。

「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆 わたしがここにおります。 わたしを遣わして下さい。

祝祷



後奏 「心に愛を」(讃 21:88) (H.ウィラン)

司 式 喜多村 文子 説 教 向井 希夫牧師 奏 楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。